

令和7年3月20日

令和7年度 社会福祉法人 身障者ポニーの会事業計画

[基本理念]

「すべての人が夢と希望をもって暮らせる社会の実現に貢献する。」

[基本方針]

- ・利用者の基本的人権を尊重し、その自己実現に向けて、1人ひとりが生き生きと喜びをもって共に社会の一員として豊かな人生を過ごすことができるようよう支援する。
- ・利用者の希望・願いやその家族の想いをしっかりと受け止め、職員との相互信頼と協力のもと、利用者の主体性やプライバシーを尊重し、その個性、要望に基づいて個別的な支援を行う。
- ・利用者が地域社会に受け入れられるよう、あらゆる機会を通じて支援を行うとともに、当法人の持つ専門的な知識・機能を提供することで、地域社会への貢献と地域福祉の推進に努める。

1. 本部事業計画

令和7年度における業界の主な動向は、障害福祉サービス事業所の人材確保及び職員の処遇改善を促進する取り組みが強化されます。新たに適用される「職場環境等要件」や「昇給の仕組みの整備」等が要件に含まれ、交付率が高い処遇改善加算Ⅰの取得を目指し職員の処遇改善に引き続き取り組んでいきます。

又、経営面では、物価高騰の影響を大きく受け、光熱費や食材費、ガソリン代、備品等の経費の増加により、各事業所の経営状況は今後ますます厳しくなることが予想されることから適切な対策を講じて、経営の安定化を図っていきます。

加えて、当法人の築15年目のケアホーム夢未来の建物修繕や設備交換について、課題として対応していきます。

以上、今年度の本部重点項目は、(1) 職員の処遇改善、(2) 経営の安定化、(3) ケアホーム夢未来の改修の3点です。

(1) 職員の処遇改善について

- ① 交付率が高い処遇改善加算Ⅰの取得を目指すために「職場環境要件」の6項目の取り組みを行う。又令和6年7月から処遇改善加算、特定処遇改善加算、ベースアップ等支援加算が1本化になったことから、引き続き職員への公平な配分を継続する。
- ② 令和6年度から開始した、職員への健康増進活動（健康相談）を継続し、職員自身

も自分の健康に向き合うことで、職員の定着率向上を図っていく。

- ③ 毎日のメンタルヘルス診断、年1回ストレスチェックの実施、カウンセリング希望者に対して「おりこうブログ」に直接アクセスできるようにする。

(2) 経営の安定化

収支バランスの適正管理を徹底し、経営の安定化を図る。又、経費削減のために電気代のデマンド値（最大需要電力）を抑えて基本料金を下げる。物価高騰対応については、食品・備品発注に際し、何店舗からの値段を比較検討し、経費削減に注力する。

(3) ケアホーム夢未来の改修について

公園側及び用水路側に隣接する外壁に苔の付着が目立つことから、外壁の塗装を実施し、景観の向上と安全性を図る。

2. ポニーの家多機能事業計画

＜令和年7度 目標＞

利用者一人一人が生きがいを持ちながら日々を過ごせる様に支援していく。ポニーに楽しく通えるようにする。

【生活介護】

(目 標)

安心・安全な環境を提供し、楽しくポニーに通所できるようにする。健康面にも留意し、充実した日々を送れるようにしていく。

(基本方針)

利用者の個性や能力を引き出し、適性にあった作業を提供することで、利用者自身が納得し選択した活動を通じて、日々の生活に充実感を持てるよう支援していく。また、作業以外の余暇活動においても、各利用者の意思を尊重し、能力に応じて自ら選び楽しめるように支援していく。また機能訓練指導員(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の指導のもと、各利用者に無理のない範囲で身体機能の維持・向上に努めていく。

(サービス内容)

- ・利用者の状況や意向に応じて生活や活動に関する個別支援計画を作成し、必要な支援を提供する。

- ・創作活動・生産活動の機会を提供するとともに、身体機能や生活能力の向上を目指し、利用者が主体的に取り組めるよう支援する。活動班を少数グループに分け、各班のレベルに応じた活動内容・支援の提供を行っていく。
- ・各作業では、それぞれの持っている力を十分に発揮できるよう多様な支援方法を考え、提供していく。
- ・利用者が自分自身の生きがいを持ち、楽しく通所していけるよう日々の関わりを大切にしていく。
- ・機能訓練指導員の指導のもと余暇時間を活用し利用者の健康維持に努め支援していく。
- ・感染症防止のため、食事の場所を分け、手洗い・消毒・検温の実施、必要箇所・道具の消毒の徹底を実施していき、利用者が安心して通所できる環境を整えていく。

NC 班：内職班、農業、クリーン班の合同班を継続し、利用者の能力や希望に応じた作業の機会を提供していく。内職では受託の作業を請負い、従来の作業量を維持する。また農業では育てる過程から収穫の喜びを味わえるように支援していく。また、季節に合った作物を育て季節を感じられるように支援していく。クリーンでは、施設内清掃を通して自分たちが過ごしている場所を綺麗にする喜びを得られるようにする。

また、各作業に置いて健康面に留意し、適度に運動する時間を設けていく。利用者が安心・安全に過ごせる様にしていく。

食品：クッキー班、パン班の合同班を継続し、衛生観念を育み、自分たちの手で商品を作りあげていく喜びを味わえるように支援していく。利用者の能力や希望に応じた作業の機会を提供していく。作業手順の見直しや道具や材料の置き場所を見直し、利用者が安心して作業に取り組めるようにしていく。

手工芸：季節にあわせた商品を作り、四季を感じながら作業に取り組み、楽しみや達成感を提供していけるように支援していく。

喫茶きまま：喫茶きままは水曜日・金曜日のみの作業を継続し、施設内での社会参加の疑似体験を通して、社会のマナーを身につけていけるように支援する。

庁舎売店：藤代庁舎のエントランスホールにワゴンを常設し、一般の方たちに施設内で作った手工芸品・クッキー・パンなどを販売している。接客を通し社会の一員として働ける喜びを味わえるよう支援する。

【就労継続支援 B 型】

（目 標）

- ・利用者の適性に合った作業で安定した能力を発揮し、生産性を向上に繋がるよう支援する。

（基本方針）

菓子製造、カフェ、外部清掃、コーヒー焙煎など各作業での生産性を向上し、利用者の適正に応じて安定した能力が発揮できるよう、精神面や体調面に配慮して支援する。また、カフェでの作業において各利用者のレベルや希望に応じたスキルアップを図っていけるように支援する。

（サービス内容）

- ・個々の強みを引き出せるようによく観察をし、能力や適性にあった作業を見極め提供していく。また、働く意欲や希望を尊重し、利用者の気持ちに寄り添い、精神面や体調面の変化を見逃さないように支援する。
- ・能力が向上するように支援し工賃向上に繋げていく。
- ・日常生活や作業において、利用者同士が仲間としての意識を持ち円滑に進められるようにコミュニケーションや関係づくりの構築を目指していく。
- ・日々、菓子製造、カフェ、コーヒー焙煎・外部清掃と 3 つに別れて作業を行うため、関わる支援員との連携を強化していく。
- ・各作業において危険や怪我がないよう安心安全な環境を整える。
- ・菓子製造での売り上げを伸ばすために、生産量を増やすように作業の構成を考えていく。
- ・外部清掃では、委託先や受注者が満足できるようにより丁寧に清掃作業を行っていく。
- ・カフェ…売り上げアップのために、新メニューやイベント、キャンペーン等を考え実施していく。月額目標 100 万円以上とする。

3, ポニーの家生活介護事業計画

＜令和 7 年度目標＞

身体機能の維持・向上を図りながら、安心・安全な環境を提供し、利用者の生活に潤いや活力をもたらすよう支援していく。

(基本方針)

常時介護が必要な利用者に対し、安心して楽しい時間が過ごせる様、食事や排せつ等の日常生活の支援を丁寧に行う。創作活動や生産活動の機会も提供する他、外出する機会を通しての社会参加や、実習・ボランティアの受け入れなど地域連携の場を確保する。

又機能訓練指導員（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）の指導のもと利用者に沿ったより効果的なリハビリテーション・機能訓練を提供し、健康状態を良好に保てるよう必要な援助を行う。

(サービス内容)

- 共通 ・健康観察、ストレッチ、軽運動、ウォーキング、マッサージ、足浴等を通して身体機能の維持・向上を目指す。また、通院が難しい方への歯科検診を実施。
- ・作業や余暇活動を通して、安心して穏やかな生活できるよう支援する。
 - ・外出活動や家事体験、調理レクリエーション、カフェへの納品、軽作業納品などを通じて社会性を身に付けていく事を目指します。
 - ・目的に合わせてグループを編成し、個々の特性に見合った作業を提供、納期に向けて計画的に進めていけるようにします。
 - ・季節を感じられるような活動を取り入れ、楽しみを持ちながら生活を送れるよう、一人ひとりが明るく健やかな時間を過ごせるよう支援します。
 - ・地域のイベントや自主企画行事などへの参加を目指す活動。

箸作業：箸やペーパースプーン等の内職軽作業、手工芸作業や他への参加 等

ドルチェ：箸作業への参加、古切手回収、手工芸作業や他への参加 等

製本印刷：名刺、ハガキ印刷、文章・献立表打ち込み、カレンダー作成、写真印刷、CD編集

未来工房：ボールペン・慶弔ペン封入等の内職軽作業、ペットボトル回収・処理、荷物運搬、ダンボール梱包・処理、シュレッダー

4, 共同生活援助（介護包括型）ケアホーム夢未来

<令和7年度目標>

利用者の意思を尊重し、その人らしく自立した生活が出来るよう支援していく。家庭的な

雰囲気の中で、余暇活動など集団生活ならではの楽しい時間が過ごせるように支援していく。

(基本方針)

利用者が自分で行なえることは自分で行ない自立した生活ができるよう支援を行なっていく。食事や清潔保持など利用者一人一人に対し必要な支援を見極め、適切な支援を行なえるようにする。また休日をホームで過ごすときには、余暇活動を充実させ、ホームでの時間が楽しいものとなるよう努める。

5、 特定相談支援事業（キャンディ）

<令和7年度目標>

利用者の本来持っている力を最大限に引き出せる環境を整える。利用者の持っている力を信じ、利用者自らが前向きな気持ちで取り組んでいけるように支援を行なう。

(基本方針)

利用者の夢、希望する生活に向け歩んでいく力を引き出せるよう努める。利用者が主体となって夢と希望を持ち実現に向けて力を発揮できるよう、必要なことを見極めて支援を行なっていく。

現在利用中の123名に対して、計画作成・定期モニタリングを行なう。

以上